



緊急事態宣言下の学校生活

校長 野尻 一裕

北海道に3回目の緊急事態宣言が発令され、9月30日まで、新型コロナウイルス感染防止を最優先にした社会生活となりました。学校においてもさまざまな制限がありましたが、ご家庭のご協力により子どもたちに感染予防の行動様式が身についており、日々の授業を継続することができました。そして、子ども達の元気いっぱいの笑顔、頑張る姿がたくさん見られました。

この間、運動会、学芸発表会に関して、変更のお知らせをさせていただきました。日程変更に伴い、保護者の皆様にはご迷惑をおかけすることとなり、申し訳ございませんでした。今後も、感染状況により、再度の変更も考えられる状況です。児童の健康と安全確保のためであり、何卒ご理解の程、よろしくお願いいたします。

緊急事態宣言解除後も、引き続き、感染防止を十分に行うことに変わりはありません。保護者の皆様が学校においでいただく際には、新型コロナウイルスを学校内に持ち込まないため、感染症対策へのご協力、特に体調不良の際は来校しないことをお願いいたします。ご来校いただいた際には、諸注意を守っていただいた上で、子ども達の頑張る姿をご覧ください。

行事の変更により、学年によっては、運動会と学芸発表会の練習が同時進行となっています。子どもたちには、少しストレスがかかっている状況かもしれません。また、先の見通しが持てず不安を感じていることがあるかもしれません。お子さんの様子で気になることがありましたら、遠慮せず担任までご相談ください。学校と家庭が連携し、子どもたちの育ちをサポートしていきたいと思っております。



まもなく、10月8日には前期が終わり、子ども達に「あゆみ」が渡されます。ぜひ、お子さんのこれまでの努力と成長を認め励ましてください。そして、さらに意欲を高めて、12日から始まる後期によいスタートが切れるようお願いいたします。